

教育総務部 教育総務課の方針書

組織名	教育総務部 教育総務課
所属長名	課長 近江 秀和

1. 組織の使命(ありたい姿)

「郷土を愛し、共に語り、共に未来を切り拓く人を育てるまち、横手」を実現するため、横手市教育委員会の要となって、円滑な事務局運営に努め、児童生徒が安全で安心して学べる教育環境の整備を推進します。

2. 組織の抱える課題(現状)

- ・学校施設の長寿命化、老朽化対策など、教育環境の整備を進めなければならない。
- ・横手市学校教育情報化推進計画(R4年度策定)の着実な推進が求められている。
- ・新体育館や新市民会館の建設、横手市生涯学習館Ao-naオープンほか、ビッグプロジェクトが進行しており、教育委員会各課が連携、結束して成功に導かなければならない。
- ・少子高齢化に対抗する学校教育の支援を積極的に行わなければならない。

3. 今年度の『スローガン』

持続可能な未来を目指し、力を結集して、学校教育環境の整備を進めます

4. 今年度の方針

- ・安全安心で快適な教育施設を提供するため、学校施設の長寿命化工事および老朽化対策工事を進めます。
- ・学校ICT(情報通信技術)環境の適切な維持管理と拡充に務めるとともに、校務デジタル化に取り組み、学校教育情報化を推進します。
- ・教育委員会の円滑な運営に努め、教育委員会内外の各課と各学校等との要となって積極的な連携を図ります。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	児童生徒が安心して学習できる学校施設の環境整備
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝倉小学校大規模改修工事を完成させるとともに醍醐小学校大規模改修工事を実施する。</li> <li>・小中学校のエアコン設置工事や体育館照明のLED化改修を計画的に進める。</li> <li>・学校施設の消防設備修繕や各改修に係る業務委託を実施するとともに、適正な維持管理を行う。</li> </ul>
(2)	実現したい成果	学校ICT環境と校務デジタル化の基盤整備
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合型校務支援システムの導入に向けた体制整備に取り組む。</li> <li>・一人一台端末の計画的な更新に向けた体制整備に取り組む。</li> <li>・オンラインによる学習システム活用のため環境整備を実行する。</li> <li>・高速で安定した通信環境整備のため、高速ネットワーク接続を実行する。</li> </ul>
(3)	実現したい成果	教育委員会事務局の円滑な運営及び各学校等との積極的な連携を図ること
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横手市生涯学習館Ao-naオープンに向け、建物内の公衆無線LANやネットワーク環境の整備を行うとともに、関係各課と積極的に連携し利用者の利便性向上とスムーズな運営を支援する。</li> <li>・学校教育を取り巻く諸課題に対し、教育委員会内外の各課、または各小中学校等との橋渡しとなり、調整役となる。</li> </ul>

## 6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

### (1) 児童生徒が安心して学習できる学校施設の環境整備

- ・朝倉小大規模改修工事: 工期R5.5.17～R6.11.29、進捗率(10/10現在): 建築本体93.37%、電気設備93.50%、機械設備95.50%、全体として9割を超える進捗状況。
- ・醍醐小大規模改修工事: 工期R6.5.21～R7.8.29。生徒玄関、トイレの改修、下水道接続への切り替え作業ほか実施中。工事の進捗は計画どおり。
- ・吉田小大規模改修工事実施設計業務委託: 工期R6.7.12～12.24 屋根改修、トイレ改修、照明LED化、暖房設備改修、消火設備改修ほか計画。
- ・小中学校空調設備整備事業 工期～10/31、各中学校等の理科室及び理科準備室にエアコン設置工事实施中。
- ・小中学校LED化事業: 体育館照明LED改修工事について増田小実施済み、大森小年度内完成予定。
- ・大雄小自動火災報知設備、山内小屋根、横手北中暖房中央装置ほか改修工事を実施済み。

### (2) 学校ICT環境と校務デジタル化の基盤整備

- ・統合型校務支援システム導入: R6.9議会で補正予算措置済み。R6年度中に県内各市町村との共同調達によりシステム構築に着手予定。
- ・大型提示装置購入 大型提示装置70台の購入契約締結済み。納期: R7.1.31 小中学校へ配備予定。
- ・SINET(学術情報ネットワーク)共同基盤接続業務委託を実施、小中学校のインターネットについてR6.8.22からSINET経由の接続を開始。

### (3) 教育委員会事務局の円滑な運営及び各学校等との積極的な連携を図ること

- ・横手駅東口新公益施設電話環境整備機器購入: 工期R6.5.27～8.30、横手市生涯学習館Ao-na内ビジネス用電話整備
- ・横手駅東口新公益施設公衆無線LAN環境整備業務委託: 工期R6.5.28～8.30、横手市生涯学習館Ao-na内、1～4Wi-Fiアクセスポイント設置済み。
- ・R6.4.24学校事務打ち合わせ会議開催

## 7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- ・学校施設の環境整備に係る諸工事について、引き続き各学校や業者と綿密な打ち合わせ、調整を行い安全に進める。
- ・将来的な学校ICT環境整備や経費の見直しを整理し、今後の整備方針、一人一台端末更新を含めたR7以降計画検討を進める必要がある。
- ・学校ICT環境整備にかかる端末整備更新計画、ネットワーク整備計画、校務DX計画、一人一台端末の利活用に係る計画等整備を進めなければならない。
- ・次期総合計画策定の検討に合わせ、教育ビジョン等の改定検討作業に着手する必要がある。

## 8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

### (1) 児童生徒が安心して学習できる学校施設の環境整備

- ・朝倉小大規模改修工事: R6.11.29完了。関連する修繕工事や備品購入についても完了。
- ・醍醐小大規模改修工事: 工期R6.5.21～R7.8.29。屋根、内装、防火戸、消火設備、暖房、受変電設備、給排水設備ほか改修。今年度工事は計画どおり進捗中。
- ・吉田小大規模改修工事実施設計業務委託: R7.2.28完了。
- ・小中学校空調設備整備事業: 10/31各中学校等の理科室及び理科準備室エアコン設置完了。
- ・小中学校LED化事業: 10/4増田小、1/17大森小体育館照明LED改修工事完了。
- ・大雄小自動火災報知設備、山内小屋根、横手北中暖房中央装置ほか各修繕工事を実施。

### (2) 学校ICT環境と校務デジタル化の基盤整備

- ・統合型校務支援システム導入: 3/31システム構築業務完了。
- ・大型提示装置購入: 1/31大型提示装置70台の小中学校へ配備完了。
- ・SINET(学術情報ネットワーク): 8/22SINET経由のインターネット接続を開始。

### (3) 教育委員会事務局の円滑な運営及び各学校等との積極的な連携を図ること

- ・横手駅東口新公益施設電話環境整備機器購入: 8/30横手市生涯学習館Ao-na内ビジネス用電話整備完了。
- ・横手駅東口新公益施設公衆無線LAN環境整備業務委託: 8/30横手市生涯学習館Ao-na内Wi-Fiアクセスポイント設置完了。
- ・4/24学校事務打ち合わせ会議開催 11/14学校予算説明会

今年度具体的な取り組み内容としてきた学校施設および学校ICT環境の整備、生涯学習館Ao-naの開館準備に向けた工事、事業等はすべて完了し、各重点取り組みを前進させることが出来た。特に学校ICT環境の整備については、一定の長期的な視点から、整備する機器の仕様や方式を検討し、将来的に低コスト、汎用性などにつながる布石を打つことが出来たのではないかと考える。教育環境の整備については、新しい技術、考え方、体制を導入しながら、常に前進していかなければならないが、終わりのない連続していく事業と認識し、持続可能な姿を追求しつつ、学校施設の改修、学校ICTを充実させることに努める。

令和6年度

## 教育総務部 文化財保護課の方針書

組織名	教育総務部 文化財保護課
所属長名	信太 正樹

### 1. 組織の使命(ありたい姿)

市民が地域の歴史や文化を身近に感じ、横手に誇りをもって暮らせるようにします。

### 2. 組織の抱える課題(現状)

- 市内の文化資源(遺跡・指定文化財・建造物・民俗行事等)の把握及び整理
- 資料館施設及び遺跡調査事務所の老朽化への対策と効果的な運営
- 埋蔵文化財学術調査における中間総括及び今後の調査計画の策定の必要性

### 3. 今年度の『スローガン』

文化財の把握・整理・活用で地域に賑わいを！

### 4. 今年度の方針

- 各係業務を課員全員が把握し、連携して事業効率を高める。
- 横手市歴史文化遺産保存活用地域計画の進行管理を適切に実施するとともに計画記載の措置を推進する。
- 資料館施設における確実な台帳管理と民俗行事等のデジタル映像化(アーカイブ)を進める。
- 金沢城跡(金沢柵跡推定地)における埋蔵文化財等調査の総括を行う。

### 5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	横手市歴史文化遺産保存活用地域計画に基づく文化財保護行政の推進
	取組内容	①歴史的風致維持向上計画及び歴史文化遺産保存活用地域計画掲載事業の推進と進捗管理を行う。 ②横手城下エリア及び旧片野家など文化資源を活用し、地域の賑わい創出に取り組む。 ③市民大学講座やまちあるき等の開催により文化資源の周知を図る。
(2)	実現したい成果	発掘調査事業の実施と地域価値の向上
	取組内容	①開発事業と調和を図り、消滅する遺跡は発掘調査を行い、その歴史的価値を記録保存し後世に残す。 ②金沢城跡(金沢柵推定地)の総括報告書を作成し、併せて史跡指定に向けた準備を進める。 ③発掘調査の現地説明会、小中学校を対象とした発掘体験及び公開講座等を行い、地域価値を高める。
(3)	実現したい成果	文化財の整理、把握及び記録の効率的な推進
	取組内容	①建造物をはじめとする未指定・未登録の文化財の把握及び調査を進めるとともに、民俗行事等のデジタル映像化(アーカイブ)を進める。 ②各資料館の資料台帳の整備を促進し、収蔵状況の確認と必要な手続及び展示の見直しを行う。 ③FM計画に則り、資料館施設の今後の在り方について検討する。

## 6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

### (1) 横手市歴史文化遺産保存活用地域計画に基づく文化財保護行政の推進

- ① 関係部局と情報共有を図りながら、歴史的風致維持向上計画及び歴史文化遺産保存活用地域計画掲載事業の推進と進捗管理を実施している。後者は中間評価の準備を併せて実施した(5月8日に庁内連絡調整会議、6月19日に歴史的風致維持向上協議会、7月9日に歴史文化遺産保存活用地域協議会を各1回開催)。
- ② 旧片野家住宅の活用について関係機関との協議を進めている(事業予定用地を購入、庭園開放3日間/来庭者数35人)。
- ③ 市民大学講座を開催した(開催回数2回/受講者数計57人)。

### (2) 発掘調査事業の実施と地域価値の向上

- ① 周知の遺跡に関わる開発行為については、事業に支障がないよう原因者と事前調整を行った。記録保存となった下村遺跡は5月1日から7月31日まで発掘調査を実施した。
- ② 金沢柵推定地金沢城跡の総括報告書作成にあたり、15次にわたる発掘調査の遺構遺物の再整理を進めた。
- ③ 7月13日に下村遺跡で現地説明会を行い、地域住民を中心に市民30名が参加した。7月24日に全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会を当市で開催した(出席者63名)。8月と9月の計8日間にわたり、青山学院大学(参加者36名)が当市で考古学実習を行い、支援した。

### (3) 文化財の整理、把握及び記録の効率的な推進

- ① 民俗行事等のデジタル映像化を進めている(22件中16件撮影)。
- ② 歴史資料等の収蔵状況を確認しながら、台帳整備を進めている(旧植田小学校台帳1,200件中280件整備)。
- ③ 奈良文化財研究所主催「文化財デジタルアーカイブ課程」研修を受講するとともに、各資料館施設の現況を把握している。

## 7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

### (1) 横手市歴史文化遺産保存活用地域計画に基づく文化財保護行政の推進

- ① 歴史的風致維持向上計画及び歴史文化遺産保存活用地域計画掲載事業の推進と進捗管理を引き続き実施する。後者は外部有識者現地調査など中間評価を実施する。
- ② 旧片野家住宅において秋の一般公開を実施し、文化資源の周知及び賑わいの創出を図る。
- ③ 市民大学講座に加えて地域遺産探訪(よこてまちあるき)も開催し、さらなる文化資源の周知を図る。

### (2) 発掘調査事業の実施と地域価値の向上

- ① 蟹沢遺跡と分布調査の3月報告書刊行のため、データ精査や掲載項目の選択等を早期に進め、計画的な工程を心掛ける。
- ② 金沢柵推定地金沢城跡の史跡指定に向け、10月24,25日に文化庁調査官の現地指導、12月に後三年合戦関連遺跡整備指導委員会等の開催、1月頃に文化庁「中世城館・近世城郭遺跡等の保存に関する検討会」での報告を行う。
- ③ 12月に後三年合戦シンポジウムを開催し、金沢柵推定地金沢城跡の15次にわたる調査成果の報告やシンポジウムを行う。

### (3) 文化財の整理、把握及び記録の効率的な推進

- ① 民俗行事等のデジタル映像化において、開催中止により撮影できなくなったものの代替を検討していく。また、活用方法について教育指導課と連携を図り、活用方針を作成する。
- ② 歴史資料等を引き続き整理し、収蔵状況の確認及び管理を進める。
- ③ 資料館施設の今後の在り方について引き続き検討の上、FM計画の再配置方針「複合減」に基づく構想の叩き台を作成する。

## 8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

### (1) 横手市歴史文化遺産保存活用地域計画に基づく文化財保護行政の推進

- ① 関係部局と情報共有を図りながら、歴史的風致維持向上計画及び歴史文化遺産保存活用地域計画掲載事業の推進と進捗管理を実施した。後者は中間評価を併せて実施し、評価指標のさらなる設定や観光への重点的な取組が課題として挙げられた(庁内連絡調整会議、歴史的風致維持向上協議会、歴史文化遺産保存活用地域協議会を各2回開催)。
- ② 旧片野家住宅の活用に向けた周辺環境の整備について関係機関と協議を進めたほか、旧片野家住宅及び庭園の一般公開を実施した(事業予定用地を購入、庭園公開3日間/来庭者数35人、一般公開2日間/来訪者数約1,500人)。
- ③ 市民大学講座(開催回数5回/受講者数計132人)、地域遺産探訪(よこてまちあるき)(開催回数5回/参加者数37人)を開催した。伝統行事の開催に合わせたまちあるきなど、歴史文化遺産について興味・関心の薄い層へのアプローチが必要である。

### (2) 発掘調査事業の実施と地域価値の向上

- ① 発掘調査の整理作業を効率よく進め、『蟹沢遺跡(176頁)』『遺跡詳細分布調査報告書(52頁)』の報告書(記録保存)を計画とおりに刊行した。民間団体による造山十足馬場遺跡(雄勝城推定地)の発掘調査では発掘機材や測量などの支援を行った。
- ② 金沢柵推定地金沢城跡の史跡指定に向け、文化庁調査官の現地及び報告書指導、後三年合戦関連遺跡整備指導委員会、文化庁主催中世城館・近世城郭遺跡等の保存に関する検討会に出席し、『金沢城跡総括報告書(400頁)』を作成した。
- ③ 12月にAo-naスタジオで後三年合戦シンポジウムを開催し、95名の市民の参加を得た。小中学生等を対象とした発掘体験等次世代への働きかけが課題である。

### (3) 文化財の整理、把握及び記録の効率的な推進

- ① 民俗行事等のデジタル映像化22件の撮影を実施し教育現場向け動画を作成した。一般への効果的な公開方法の検討が課題である。
- ② 雄物川郷土資料館内の台帳整備が完了見込み。引き続き各保管場所の歴史資料等の収蔵状況を確認しながら、適正な管理・運営を図る。
- ③ 資料館施設の今後の在り方について検討し、統廃合の必要性及び目指すべき施設のあり方に係る叩き台を作成した。

令和6年度

教育総務部 図書館課の方針書

組織名	教育総務部 図書館課
所属長名	高橋 秀明

1. 組織の使命(ありたい姿)

教養を高め知識を豊かにする読書活動を推進します。

2. 組織の抱える課題(現状)

- ・第1次横手市読書活動推進計画をベースとした読書活動の推進
- ・生涯学習館Ao-naへの横手図書館の移転と運営
- ・市立図書館6館体制の運営と機能充実
- ・図書館情報の発信と利用者の増加

3. 今年度の『スローガン』

利用者目線に立ち、親しみやすく楽しく役に立つ図書館を目指します。

4. 今年度の方針

- ・第1次横手市読書活動推進計画の基本方針「生涯にわたっていつでもどこでも読書を楽しめるまちづくり」をコンセプトに読書活動を推進していく。
- ・生涯学習館Ao-naへの横手図書館の移転作業を実施し、6図書館が連携した新しい図書館サービスを広く市民に周知し利用者増加を目指す。
- ・市民に役立つ資料提供やレファレンスサービスなどの図書館機能の充実

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	第1次横手市読書活動推進計画をベースとした読書活動の推進
	取組内容	・第1次横手市読書活動推進計画をベースとした読書活動の推進。 ・「図書館を使った調べる学習コンクール」と「読書に関する作品コンクール(絵画部門)」を実施する。 ・視覚障がい者等の読書環境を充実させる。
(2)	実現したい成果	生涯学習館Ao-naへの横手図書館移転と6図書館が連携した新しい図書館サービスの周知
	取組内容	・新横手図書館の計画的な移転作業とオープン後の6図書館連携による図書館運営を充実させる。 ・市民の学びや成長をサポートし、横手の魅力を再発見できるソフト事業の実施。 ・様々な情報媒体を使って旬な図書館情報を提供する。
(3)	実現したい成果	市民に役立つ資料提供やレファレンスサービスなどの図書館機能の充実
	取組内容	・限られた予算の中で図書館を利用する市民に必要な資料を厳選し提供する。 ・6館相互で企画展示や読書活動推進事業等の情報を共有し、連携を強化する。 ・地域におけるニーズや課題を把握し、特徴を活かした図書館サービスを提供する。

## 6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

### (1) 第1次横手市読書活動推進計画をベースとした読書活動の推進

- ・令和6年度からの第1次横手市読書活動推進計画に基づき、関係各所と連携したイベントや企画展示を実施した。
- ・「第1回横手市図書館を使った調べる学習コンクール」「第19回読書に関する作品コンクール(絵画部門)」への作品応募のPR活動を行った。
- ・市立図書館にりんごの棚(視覚障がい者等が利用しやすい書籍のコーナー)を設置した。

### (2) 生涯学習館Ao-naへの横手図書館移転と6図書館が連携した新しい図書館サービスの周知

- ・7月に生涯学習館Ao-naへの横手図書館の移転作業を実施した。
- ・生涯学習館Ao-na(横手図書館)が9月14日オープンした。オープニングイベントのほか関係各所と連携した企画展示を実施した。
- ・令和5年7月からSNS(X旧ツイッター)を開始し、6図書館のイベント告知や情報提供をしている。(9/25現在304 フォロワー)

### (3) 市民に役立つ資料提供やレファレンスサービスなどの図書館機能の充実

- ・限られた予算の中で資料収集方針に基づいた選定を行い、利用者からのリクエストにも応えることにより、地域のニーズに合った資料提供を行った。
- ・世界アルツハイマー月間(9/1～9/30)に合わせ連携展示「小さな認知症としょかん」を市内6図書館・2図書室で行った。

## 7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

### (1) 第1次横手市読書活動推進計画をベースとした読書活動の推進

- ・今後も第1次横手市読書活動推進計画をベースとした読書活動を推進。
- ・読み聞かせボランティアとの連携を強化し、読書活動の支援を行う。

### (2) 生涯学習館Ao-naへの横手図書館移転と6図書館が連携した新しい図書館サービスの周知

- ・読書に親しむことができる事業やイベントなどと連携するほか、情報発信も強化する。
- ・「図書館を使った調べる学習コンクール」「読書に関する作品コンクール」の表彰式を実施する。

### (3) 市民に役立つ資料提供やレファレンスサービスなどの図書館機能の充実

- ・今後も6図書館の連携を強化し、6図書館での巡回展示や合同展示を企画する。
- ・資料収集方針に基づいた選定を行い、各館の特徴を活かした資料提供を行う。

## 8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

### (1) 第1次横手市読書活動推進計画をベースとした読書活動の推進

- ・横手市読書活動推進委員会(2/4)を開催し、読書活動に関する目標値等を確認し、来年度の活動内容等について協議した。
- ・「図書館を使った調べる学習コンクール(地域コンクール)」を初開催し、目標値5校に対し21校の参加と想定を上回る3,888点の応募があった。次回は大人や高校生の応募奨励を強化し、応募数増加を目指す。また、未就学児対象の「読書に関する作品コンクール(絵画部門)」では、昨年度より15点増の201点の応募があり、今後も継続していく。
- ・視覚障がい者等に配慮した本のコーナー「りんごの棚」を増田図書館で新規設置し、目標値150冊に対し210冊(前年比64冊増)となった。今後、平鹿図書館にも新規設置を目指す。

### (2) 生涯学習館Ao-naへの横手図書館移転と6図書館が連携した新しい図書館サービスの周知

- ・新横手図書館の計画的な移転作業を実施(7/13.14.27)し、オープン後は6図書館連携により図書館全体でシフトの調整をし、図書館運営を充実させた。
- ・生涯学習館Ao-naにて、著名な作家による講演会を開催し、横手の魅力を再発見する機会となった。(9/23鈴木永子氏.11/22諸田玲子氏. 3/15中島京子氏) 今後も、本を起点とした魅力ある取り組みを進めていく。
- ・ホームページ以外でもSNS(X)でのイベント告知や図書館にゆーすや図書館だよりなどでも情報発信を積極的に行った。次年度はフォロワー数500件を目指す。(Xのフォロワー数R6.4月172件、3/2現在348件)

### (3) 市民に役立つ資料提供やレファレンスサービスなどの図書館機能の充実

- ・新横手図書館オープンに合わせ資料収集方針に基づき資料購入した。(3/3現在7,494冊) 来年度は開架率75%以上を目指す。
- ・6館相互で情報共有し、「ヨコワン」の巡回展示、「石坂洋次郎文学記念館出張企画展」、「小さな認知症としょかん」のほか、新規に「里親制度普及啓発」など他の部署との協力による企画展示や県との連携企画「音楽で楽しむ読書、読書で楽しむ音楽」の巡回展示を行った。(5件、内新規2件) 今後も市立図書館へ足を運んでもらえるイベントや企画展示の充実を図っていく。

教育総務部 生涯学習課の方針書

組織名	教育総務部 生涯学習課
所属長名	木村智子

1. 組織の使命(ありたい姿)

生涯学習を通じて、心豊かで幸せな人生を実現するとともに、地域社会への貢献意欲を育てます

2. 組織の抱える課題(現状)

- ・生涯学習館Ao-na(あおな)の開館準備と円滑な事業運営
- ・地域・学校・家庭の連携強化による体験・交流活動の充実
- ・より多くの市民へ芸術文化に親しむ機会の提供と環境の整備
- ・所管施設の適切な維持管理及び横手市民会館の整備

3. 今年度の『スローガン』

市民一人ひとりの豊かで幸せな人生と地域の持続的な発展を実現するために  
市民がワクワクする「学び」を推進しよう！

4. 今年度の方針

- ・Ao-na基本方針の具現化を図り、市民に愛されるAo-naの開館を目指す  
【Ao-na基本方針】 ①「自分の居場所」を感じられる場  
②生涯に渡る市民の「学び」、「成長」を支援する場  
③子供達自らが、自分らしい生き方の「発見」ができる場  
④地域の魅力が「再発見」できる場  
⑤地域の農商工分野との連携によりイノベーションが生まれる場
- ・社会教育振興のため、地域の様々な機関や人材とつながり、学習機会のより一層の充実を図る
- ・より多くの市民が芸術文化に興味関心を持つよう、鑑賞・体験の機会充実を図る

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	「人と人が『つどい、つながる』交流拠点」生涯学習館Ao-naの開館
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年9月開館に向け、情報発信の強化及び施設運営体制の構築</li> <li>・市民の学びや成長をサポートし、横手の魅力を再発見できるソフト事業の実施</li> <li>・秋田ふるさと農業協同組合及び横手商工会議所等、多様な機関との連携</li> </ul>
(2)	実現したい成果	いつでも、どこでも、だれでも、なんでも学べる環境の充実
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクール支援 ⇒学校運営協議会の委員改選に伴い、円滑な運営となるよう支援</li> <li>・地域・学校・家庭の連携、協働体制の強化 ⇒子どもたちの豊かな体験活動と地域コーディネーターの活動支援</li> <li>⇒家庭教育の取組支援</li> </ul>
(3)	実現したい成果	市民が芸術文化に親しむ機会の拡充
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術文化に親しむ機会の充実と市民による芸術文化活動の支援</li> <li>・芸術文化の拠点となる環境の整備</li> </ul>

## 6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1)「人と人が『つどい、つながる』交流拠点」生涯学習館Ao-naの開館
  - ・施設開館に向けた最終準備(6/17仮引き渡し、7/31本引き渡し、9/14開館)
  - ・消防訓練及びAED操作研修会、不審者対応研修会の実施 9/2
  - ・Ao-na公式SNSによる情報発信、専用ホームページ開設
  - ・横手を知る学習会(Ao-na概要説明)小中学校9校 5/28～7/10
  - ・オープニングセレモニー9/14、記念イベントの実施～9/23
  - ・横手駅東口周辺開催イベントへの参画(横手駅東口まつり実行委員会、横手盆地発酵交換会実行委員会)
- (2)いつでも、どこでも、だれでも、なんでも学べる環境の充実
  - ①コミュニティ・スクール支援
    - ・第1回学校運営協議会の開催、コミスク概要説明(全市立小中学校20校、5/10～6/4)
  - ②地域・学校・家庭の連携、協働体制の強化
    - ・地域コーディネーター委嘱状交付及び打合せ4/11
    - ・父親の家庭教育参加促進事業イベント6/30
    - ・家庭教育支援チーム親子イベント7/21
    - ・夏休み子ども教室開催(7/25～8/24、14教室、参加者228人、地域スタッフ66人)
- (3)市民が芸術文化に親しむ機会の拡充
  - ・自主文化事業(和楽器演奏と桜ライトアップショー4/19・20、人形劇舞台公演9/15、かまくら館映画上映9/21)
  - ・石坂洋次郎文学記念館(ミニ企画展6/21～9/3、企画展9/7～12/28))
  - ・芸術鑑賞事業(7/3小学校2校・中学校1校、9/30小学校4校)
  - ・学校巡回公演(8/28朝倉小、8/30醍醐小)

## 7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1)「人と人が『つどい、つながる』交流拠点」生涯学習館Ao-naの開館
  - 【課題】円滑な事業運営を進める
  - ⇒取組:実際の施設運営を進める中で、不具合等があれば微調整を加えながら円滑な事業体制を確立していく。市民の学びや成長を支援する場として各種イベントを実施し、また、多様な世代の居場所として安全で快適な施設の提供に努める。
- (2)いつでも、どこでも、だれでも、なんでも学べる環境の充実
  - 【課題】地域ぐるみで子どもの育ちを応援する体制の強化を進めている。より活発な活動をしていくためにも学校・地域・家庭のお互いの理解を深めた無理のない継続した活動が必要であり、多様な人材の確保に努めていかなければならない。
  - ⇒取組:相互理解に資する場の確保。研修会や情報交換会など顔合わせの機会を多く設定するとともに、協働活動への賛同を得て多くの市民参加を促し、周知活動については地区交流センターなど身近な地域資源の活用を図る。
- (3)市民が芸術文化に親しむ機会の拡充
  - 【課題】市民が芸術文化に親しみ、成果を発表する場として市民ステージ祭・交流美術展を開催している。多くの団体との協働となるが、主体的な活動を促すとともに、集客増への工夫が必要である。
  - ⇒取組:各地区芸術団体から選出される事業運営者や出演者の自主的な活動を進めるため、実施主体である芸術文化協会との協議を密にし、活動団体の交流や集客増のアイデアを検討、実施する。

## 8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1)生涯学習館Ao-naの開館
  - 【結果と成果】横手駅前の賑わいと交流を生み出し、市民の学びをサポートするとともに、多様な世代の居場所となった。開館から5か月で20万人の来館者数を達成できた。
  - 情報発信の強化→公式SNS、専用ホームページ開設、Ao-na紹介動画作成 / 施設運営体制→施設管理・運営体制構築、人員確保、各種業務マニュアル作成、消防計画作成、自衛消防訓練実施 / ソフト事業→開館記念イベント、小説家講演会、レコード鑑賞会、ミニシネマ鑑賞、Ao-na保健室、地域の話題や季節に応じたイベント、横手駅東口周辺開催イベントへの参画 / 多様な連携機関→商工農事業者、各活動団体、市役所各部
  - 【次年度へ課題】Ao-naでの学びから地域の魅力再発見へつなげるソフト事業の展開。引き続き安全で快適な施設の提供。
- (2)いつでも、どこでも、だれでも、なんでも学べる環境の充実
  - 【結果と成果】コミュニティ・スクール→委員改選後、第1回会議に合わせ活動説明、年3回の会議開催、コミスク研修会(1/31) / 地域学校協働活動→地域コーディネーター打合せ(4/11)と意見交換会(12/25) / 家庭教育の取組→子育て講座開催(各小学校)、親子交流イベントと懇談会の開催(5回)
  - 【次年度へ課題】コミスク周知の取組、地域と学校の協働がより深まる会議の支援策。
- (3)市民が芸術文化に親しむ機会の拡充
  - 【結果と成果】芸術文化活動→市民ステージ祭・交流美術展(11/16・17)、自主文化事業(3事業)、石坂洋次郎文学記念館企画展(年4回、Ao-na常設展示)、小中学校芸術鑑賞事業(14校)、公共ホール音楽活性化事業(11/21～23)、芸術文化団体活動補助金 / 市民会館→必要に応じた修繕、日常点検の実施
  - 【次年度へ課題】文化・芸術事業の形骸化がみられるため、広く関心を促す取り組みの検討。現市民会館の老朽化への対応。

令和6年度

## 教育総務部 スポーツ振興課の方針書

組織名	教育総務部 スポーツ振興課
所属長名	進藤 倫啓

### 1. 組織の使命(ありたい姿)

市民一人ひとりがスポーツを通して心と身体を豊かにし、健康で活力ある生活を送ることができるよう、元気なまちを築く生涯スポーツの促進を図ります。

### 2. 組織の抱える課題(現状)

- ・第7次スポーツ推進計画の計画期間4年目を迎えます。計画に基づく事業を推進するとともに、評価・点検の視点を強めながら、次期計画を見据えた課題分析のポイントを整理します。
- ・スポーツ立市よこての基本目標に掲げる取り組みを進め、スポーツによるまちづくりを推進します。
- ・部活動の地域移行をはじめ、地域の実情に応じた課題解決の方策の検討が必要です。
- ・市民ニーズや現在求められるサービス水準に対応した施設の改修、備品の更新等を計画的に行います。

### 3. 今年度の『スローガン』

自ら楽しみ それを伝えられるチームへ

### 4. 今年度の方針

- ①市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツ活動・健康活動に親しむことができる環境づくりを行います。
- ②関係団体等と連携し、トップスポーツを身近に感じられる機会の創出と、交流人口の拡大を図ります。
- ③スポーツ施設の安全で快適な利用を図るため、計画的な整備・改修等を着実に実施します。

### 5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツ活動・健康活動に親しむことができる環境づくりを行います。
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ラジオ体操チャレンジデーやニュースポーツの普及など、市民が気軽に参加できる機会の創出</li><li>・関係部署と連携し、介護予防に資するフレイル予防の取り組み</li><li>・スポーツに関する情報提供の強化</li><li>・部活動の地域移行や学校開放にかかる課題の整理と解決に向けた仕組みの検討</li></ul>
(2)	実現したい成果	関係団体等と連携し、トップスポーツを身近に感じられる機会の創出と交流人口の拡大を図ります。
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ミニ国体（軟式野球）の実施</li><li>・天皇賜杯全日本軟式野球大会の実施に向けた準備</li><li>・プロスポーツの大会やトップアスリートによる合宿等の誘致</li><li>・競技力向上、競技人口拡大、指導者養成のためのトップアスリートによる講習会等開催</li><li>・スポーツを核とした交流人口拡大、地域の活性化に向けた仕組みの検討</li></ul>
(3)	実現したい成果	スポーツ施設の安全で快適な利用を図るため、計画的な整備・改修等を着実に実施します。
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・天下森スキー場の整備（ヒュッテ新築工事）</li><li>・新横手体育館の令和8年度開館に向けた準備</li><li>・野球場の改修（グリーンスタジアムよこてスコアボード、平鹿野球場ナイター照明等）</li><li>・十文字陸上競技場の更新改修（公認取得に向けた走路改修等）</li><li>・スポーツ施設の安全で快適な利用を図るため、適切な管理運営・維持管理を実施する</li></ul>

## 6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1)各地域やPTA、スポーツイベント、介護予防の機会を通じて、ニュースポーツの普及に取り組んでいる。5月にスポーツの振興にかかるホームページの構成を見直し、情報提供の強化を図っている。学校開放については、7月に実施校及び受付担当窓口に対するヒアリングを行い、課題の抽出と分析を進めるとともに、有料化の妥当性を検証している。
- ・スポーツと介護予防(金沢地区をモデル地区として12回開催(うちスポーツ推進員による指導8回)、延べ115人参加)
  - ・9/29、よこてシティーハーフマラソン、エントリー1,650人
- (2)下記の大会やスポーツ合宿の受け入れを実施した。横手市を拠点に東北初のVリーグ参入を目指す「SKY ROCKETS秋田」のエキシビジョンマッチ(9/21、横手体育館)開催にあたっての周知等の支援。
- 【令和6年度国民スポーツ大会東北ブロック大会兼第51回東北総合スポーツ大会(軟式野球)】
- ・8/24～25、グリーンスタジアムよこて・平鹿野球場、6チーム参加(秋田県第4位)
- 【わか杉カップ 全国ブロック選抜高校男子バレーボール大会】
- ・7/13～15、雄物川体育館、参加校7校(雄物川高校・準優勝)
- 【スポーツ合宿】
- ・玉川大学女子バスケットボール部(8/1～5、30人)
  - ・神奈川大学硬式野球部(8/1～11、40人)
  - ・日本体育大学硬式野球部【第1団】8/11～16、50人【第2団】8/16～22、49人
- (3)スポーツ施設にかかる下記工事について本契約を終え、順調に進んでいる。新横手体育館の開館準備にあたっては、工事打合せと合わせるとともに、各スポーツ団体等との調整を図りながら備品や設備の選定案等を取りまとめた。
- 【十文字陸上競技場】
- ・公認更新工事(R6.6.14～R6.12.10)
- 【グリーンスタジアムよこて】
- ・スコアボード改修工事(R6.6.14～R7.5.30)
- 【天下森スキー場】… 令和5年度からの継続工事
- ・ヒュッテ解体工事(R5.7.25～R6.4.15 完了)
  - ・ヒュッテ新築工事(建築本体工事/R5.9.22～R6.12.16)
  - ・ヒュッテ新築工事(電気設備工事/R5.10.3～R6.12.16)
  - ・ヒュッテ新築工事(機械設備工事/R5.9.22～R6.12.16)

## 7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1)10/25～27に奥羽横断駅伝、11月にはラジオ体操チャレンジデーを開催予定。下期も引き続き、市民が気軽に参加できる機会の創出を図る。学校開放にかかる現状把握をもとに、事業の位置づけや施設環境の状況を踏まえた方針を定める。
- (2)ミニ国スポ開催の経験をもとに、令和7年に予定されている天皇賜杯全国軟式野球大会開催に伴う対応にかかる準備を進める。トップアスリートによるスポーツ教室の冬季開催に向け調整を行う。
- (3)今後も各種工事の進捗管理を継続する。新横手体育館の開館準備については、令和6年度内の設置条例制定を目指すとともに、指定管理者選定にかかる準備を進める。

## 8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- 重点取組項目(1)市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツ活動・健康活動に親しむことができる環境づくりを行います。コロナ禍を経て、市民がスポーツに親しめるきっかけづくりの重要性を再認識した。現在の活動に加え、取り組みを拡充していくためには、多様な実施主体のもと、限られた人的資源をいかに有効活用し、ニーズに応えていくかが課題となる。
- 重点取組項目(2)関係団体等と連携し、トップスポーツを身近に感じられる機会の創出と交流人口の拡大を図ります。上半期の取り組み状況に加え、横手わか杉カップ東日本中学バレーボール大会やチャンピオンズカップ横手・東北中学校新人バスケットボール大会を開催した。また、楽天野球塾や陸上競技クリニックなど、トップアスリートによる教室を企画。2月24日には、桃田賢斗選手が所属するNTT東日本バドミントン部によるバドミントン教室を、3月22日には、SKY ROCKETS秋田によるバレーボール教室も開催している。重点取組項目(1)と同様、多様な実施主体のもと、限られた人的資源をどのように有効活用して取り組みを広げていくかが課題となる。
- 重点取組項目(3)スポーツ施設の安全で快適な利用を図るため、計画的な整備・改修等を着実に実施します。
- 【十文字陸上競技場】工期内に公認更新完了(第3種陸上競技場/2024.11.10から5年間)。
- ・公認更新工事(R6.6.14～R6.12.10 完了)
- 【グリーンスタジアムよこて】令和6年度からの継続工事として順調に進んでいる。
- ・スコアボード改修工事(R6.6.14～R7.5.30)
- 【天下森スキー場 夏虫沢ヒュッテ】工事を順調に終え、予定よりも早く令和6年内にオープンできた。
- ・ヒュッテ解体工事(R5.7.25～R6.4.15 完了)
  - ・ヒュッテ新築工事(建築本体工事/R5.9.22～R6.12.16 完了)
  - ・ヒュッテ新築工事(電気設備工事/R5.10.3～R6.12.16 完了)
  - ・ヒュッテ新築工事(機械設備工事/R5.9.22～R6.12.16 完了)
- 【その他】
- ・緊急性と優先度を考慮しながら修繕を実施した。FM計画との整合性を図りながら、安全第一とした修繕を継続する。
  - ・次年度は、令和8年度のオープンを控えた横手市立体育館の開館準備を、引き続き着実に進める。